

平成30年度

事務事業評価表 A (平成29年度の実績評価)

記入年月日
平成 29 年 4 月 13 日

事務事業名		岩瀬A・B調整池管理運営事業				事業区分		担当		
						新規/継続		事務事業No. 050204000768		
						単独/補助		060201		
政策体系	総合計画の施策名		0502 住環境の整備と景観形成		主要事業		所属課		都市整備課	
	政策名		05 快適な暮らしのまちづくり		市長マニフェスト					
	施策名		02 住環境の整備と景観形成		未来PJ事業		グループ		整備・管理G	
	手段名		04 ④公園の維持管理		合併建設計画事業					
財務会計上の位置付け						事業期間				
予算科目						単年度繰返し (年度~)				
会計 01 08 04 02 01 00						公園事業				
法令根拠						← 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入				

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その1)

手 段	①事務事業の概要(事務事業の全体像)		②担当者が行う業務の内容・やり方・手順	
	<p>岩瀬A・B調整池は市街地にあり、子供たちがサッカー等の練習で使用している。調整池周辺には数十本の桜の木があり、花見の時期は多くの市民で賑わっている。</p> <p>管理業務委託事業により、桜の木の剪定・殺虫剤の散布・法面等の除草作業を実施している。また、グラウンドの除草作業、整地は利用するサッカー少年団でも実施している。</p> <p>害虫駆除等については、住宅が隣接していることから季節には巡回を密にして、害虫の発生予察に心掛け、大量発生を未然に防ぐ必要がある。(初期防除として有効なものは、巣網の焼却、ピンポイント薬剤散布)樹木全体に拡散してしまつたらシルバー人材センター等に委託し、散布時期、時間等を周辺の住民に事前周知し、2次災害(クレーム)を防止する。</p>		<p>病虫害の駆除・草刈り・木の剪定等を委託または直営の両方で実施する。</p>	

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
病虫害の駆除・草刈り・木の剪定等を委託または直営の両方で実施する。	維持管理済み面積	m ²	9,944.00	9,944.00	9,944.00	0.00	0.00
	除草回数	回	4.00	4.00	4.00	0.00	0.00
	害虫駆除回数	回	2.00	2.00	2.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
調整池を利用する桜川市民	桜川市人口	人	42,000.00	41,278.00	41,008.00	40,738.00	40,467.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
苦情や緊急時対応の回数を減少させる。	苦情、緊急時対応件数	件	2.00	1.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量(事業費)の推移

投入量	事業費内訳	単 位	28年度	29年度	30年度	期間限定 総投入量
			(実績)	(実績)	(計画)	
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0
	使用料・手数料	千円	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0
	一般財源	千円	362	290	362	0
	事業費計(A)	千円	362	290	362	0
人件費	正規職員従事人数	人	3.00人	3.00人	3.00人	
	述べ業務時間	時間	95.00	90.00	90.00	
	人件費計(B)	千円	278	263	263	
トータルコスト(A)+(B)		千円	640	553	625	

事業費の内訳	29年度事業費 実績(千円)			30年度事業費 予算(千円)		
	11 需用費	13 委託料	合計	11 需用費	13 委託料	合計
	112	178		112	250	
			290			362

(4) 当該年度の実施内容

※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する	30年度の事業内容	31年度の事業内容	32年度の事業内容
<ul style="list-style-type: none"> ・主要事業 ・市長マニフェスト ・未来PJ事業 ・合併建設計画事業 			

事務事業名	岩瀬A・B調整池管理運営事業	事務事業No.	50204000768	所属課	都市整備課
-------	----------------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 市街地にある調整池であるが、子供たちがサッカーの練習に利用しているためグラウンドとしての整備が必要である。町村合併により公園緑地係ができたことに伴い管理運営事業を開始した。調整池の周辺にある数十本の桜の木の管理をしていることから、毎年の花見の時期にはきれいな花を咲かせ多くの市民で賑わい、地元市民の協力もあって維持管理ができています。
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか? 調整池の周辺にある数十本の桜の木があり、毎年桜祭りにはきれいな花を咲かせ多くの市民で賑わい喜ばれている。地元市民の協力もあって維持管理ができていますが、害虫発生が起りやすいため、抑制や駆除の要望がある。
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容 サッカー利用の許可に対して、除草作業の範囲を拡大できるかどうか協議する。
現状維持

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
目的妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 地域の子供たちがサッカーの練習場として、また、市民の憩いの場としても利用されている。
目的妥当性	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 大雨時の調整池であり、また、干渉時には不特定多数の地域住民が利用しているので管理するのが妥当である。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?) <input type="checkbox"/> 向上余地がない 管理事業区域と管理内容が限定されているため、向上の余地がない。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 地域住民の生活環境を良好に保つためには、桜の木の害虫駆除や草刈り等は必要であるため影響がある。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名 <input type="checkbox"/> 余地がない 類似する事業はほかにない。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?) <input type="checkbox"/> 削減余地がない すでに除草作業は、利用しているサッカー少年団が実施しているほか、そのほかの部分を委託しているため削減の余地はない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 桜川市民の安全を図る調整池であり、また、憩いの場となる場所の管理であるため公正・公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	(2) 全体総括(振り返り、反省点) 調整池Aについては、サッカー利用が少なく中央部分しか除草されていないため、周辺の草丈がかなり伸びてからの除草作業(年1回)であった。そのため景観上好ましくないため、年2回の除草作業ができれば理想的である。																						
(3) 今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 (複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		成果	低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○																				
成果	低下																						
	(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																						
(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 コスト削減優先度評価結果																							

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価 課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合) 確認欄 <input type="checkbox"/>
--	--